

## 動かす前には要チェック！

近年は全国的に気温が上昇しているといわれており、それにもないエアコンを稼働させる時間も上がってきています。

そこで重要になるのがエアコン内に繁殖するカビの除去とクリーニング。カビを放置することはエアコンでカビを室内にばら撒くのと同じこと。

本気で除去をするのであれば専門業者に頼むのが早いのですが、まずは定期的なクリーニングを数ヶ月に一度は行ってカビの繁殖を抑制しましょう。



## 放置すると体調不良の原因に繋がるとも

エアコン内で繁殖されたカビが放出され体内に取り込まれることで、カビによるアレルギーや肺炎（夏型過敏性肺炎）の原因に繋がるとされており、特に小さなお子様や高齢者がいる場合には深刻な事態に繋がる恐れも指摘されています。

## 定期的なクリーニングでは三箇所を重点的に

家庭でクリーニングをするのであれば、以下の三箇所を重点的に行いましょう。

### ●フィルター

比較的掃除をしやすいのがここです。

カバーを外し、掃除機でフィルター全体の大きな汚れを吸い取ったら取り出して、もう一度掃除機をかけます。

さらに風呂場でフィルターの裏面からシャワーを当て、細かいほこりも落としましょう。

洗い終わったらしっかりと水気がなくなるまで乾燥させてください。

### ●吹き出し口(ファン)

カビが繁殖した時の酸っぱいような臭いの元になっているのはほとんどがここです。

吹き出し口付近やその奥の回転ファンにカビがこびりついているのです。

まずは養生テープで吹き出し口から出てくる水を受けられるように、大きなゴミ袋を貼り付けます。

続いて水で薄めた中性洗剤をファンに吹き付け、歯ブラシや割り箸に布を巻きつけた道具でゴシゴシ……。細かいところは爪楊枝などでほじくり出します。

仕上げに水か市販のエアコンクリーナーを吹き付けてすすぎ洗いをしましょう。

### ●冷却フィン

最後は冷却フィンです。最初にフィルターを外すとアルミでできた大きな部品が出てきます。

ここには市販の洗浄スプレーを全体にしっかりとかけましょう。

クリーニング後は部品をセットして、二時間ほど送風運転をして乾燥させましょう。

参考サイト: <http://katadukekotsu.com/eakonsooji-kabi/> 他

